



大阪の貧困と生活保護バッシングを考える シンポジウム

兵庫県小野市で「福祉給付制度適正化条例」が可決し、大阪でも寝屋川市、守口市、松原市、東大阪市、枚方市で「生活保護適正化ホットライン」などが設置されています。

しかし、監視やバッシングを強めたところで、貧困はますます拡大し、雇用状況は悪化する一方で放置されており、本質的な解決は一向に進みません。貧困解決のために私たちができることは何なのか、本当に必要なことは何なのか、みんなで考えましょう。

★日時 2013年5月25日(土)午後1時～4時半

★会場 大阪府保険医協会M&Dホール

①講演 中塚久美子 朝日新聞大阪本社記者

「貧困の中でおとなになる子どもたち～深刻化する実態と記者としての問題意識」

②大阪の貧困の実態とバッシングを考えるシンポジウム

コーディネーター 加美嘉史 佛教大学准教授

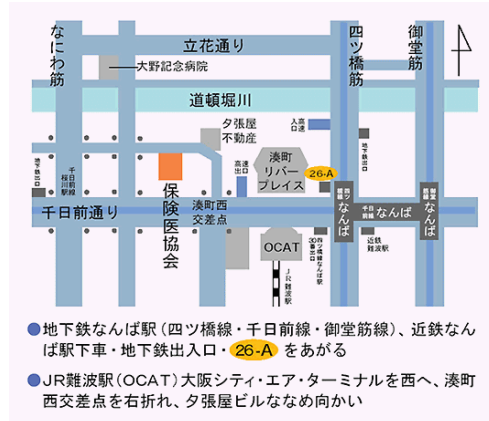
福祉事務所、小学校学校保健室、非正規労働者、生活保護支援団体からの発言

★参加費 無料 資料準備の関係上、事前申し込みをfaxしてください。

★主催 大阪の生活保護を考える会

(大阪自治労連・大阪府保険医協会・大阪府歯科保険医協会・大阪民医連・大生連・大阪社保協)

★連絡先 社会保障推進協議会 Tel06-6354-8662 fax6357-0846



大阪の貧困と生活保護バッシングを考えるシンポジウムに参加します

ふりがな

氏名

団体・職場名

連絡先 fax

職種

* お断りをする場合のみfaxでご連絡します。